

第10回商工センター地区活性化検討会

議事概要

- 1 開催日時 令和元年7月29日(月)9:30~11:30
- 2 開催場所 広島サンプラザ3階 銀星の間
- 3 出席者 構成員15人中15人出席(代理を含む。)
- 4 議題
 - (1) 新中央市場の建設について(報告)
 - (2) 今後のMICE施設整備の検討について
 - (3) その他

※ 以降については、事務事業の執行に関する情報等の非公開事項を除いた内容を記載

5 議事経過

○ 新中央市場の建設について、中央市場から報告を行い、主に以下のような意見が述べられた。

- ・ 完成時期が2030年代初頭というのは、衛生面の管理の問題など差し迫った課題がある中で、時間をかけすぎなのではないか。
- ・ 民間活力の導入と言うが、そういったノウハウを持った民間事業者が本当にいるのか。
- ・ 中央市場の強みは広大な土地であり、ローリング方式での建替えが可能。周りを見渡してもこれほどの広さはなく、最高の場所だという意見をよく聞く。
- ・ 余剰地の位置については、広島都市圏全体として用地を最適化していくという観点からも、全体の状況をよく見ながら決めていくのがよいと思う。
- ・ 賑わい機能は、周辺の既存の商業施設とは全く異質なものにして、新たな魅力づくりをしていくべきである。
- ・ 外国人観光客は平日・休日の関係なく、空いた時間にバスで観光に来る人が多い。観光バスを受け入れる時間の問題まで考えておく必要がある。

○ 今後のMICE施設整備の検討について、委員からの提案に基づき事務局から説明を行い、主に以下のような意見が述べられた。

- ・ 商工センター内の個々の事業主が活性化しなければ、地区全体の活性化はないと思う。
- ・ いつ頃までにこれをするという、おおよその目標を定めるべきではないか。
- ・ 広島東部地区と西部地区は質の異なる発展が望まれると思うので、MICEを中心とした社会的機能が、この西部地区の魅力に新しい魅力につながり、活性化していくことを期待する。
- ・ 人と物の流れが混交しないような整備がなされることは、先進事例になると思う。
- ・ 宿泊施設が全く足りないと思うので、検討が必要である。
- ・ 中央市場の問題と同様、MICEで行う国際会議等も平日とか週末といったことはあまり関係ないだろうから、随時やって来る人たちのバスを捌く必要がある。これはできるだけ既存の施設を使って行うべきだと思う。

- MICEの誘致に当たっては、商工センターをどのような地区にしていくのかという明確なビジョンがなければならない。
- スピード感を持ち、皆で協力して、どのようにまちづくりビジョンを打ち出していくかが重要である。